

あなたも「まちづくり委員会」に参加しませんか！

様々な立場の人が自由に意見を交わし、住みよいまちづくりを考え実践する場として平成20年にスタートしました。「安全」「環境」「福祉」「交流」「共育」「定住促進」の6つのテーマごとに部会を設け、月に1回くらいのペースで集まって活動しています。

3月10日(金)18時からは公民館講堂で、小布施町議会議員の皆様との懇談会を開きます。より良い小布施町をつくっていくために、お互いの問題意識を共有し意見交換をします。終了後は、1人1,000円の会費制で懇親会も行います。

そんなまちづくり委員会にあなたも参加してみませんか。参加をご希望の方は、下記事務局へお申し込みください。

小布施まちづくり委員会事務局
Tel: 026-214-9102 Fax: 026-247-3113
E-mail: kourvuu@town.obuse.nagano.jp

Facebookのページ紹介

「いいね」が110件を超えました！

広報委員会報告

(含むVTR・静止画撮影記録)

- 10/1 六斎市撮影
- 12/3 おぶせ未来共育会議取材
- 12/5 ボイス16号の記事編集委員会
市村良三町長の語り座ビデオの編集点検
- 12/25 ボイス16号原稿締め切り
- 1/10 ボイス16号編集完了



10月六斎市

共育を考える部会 活動報告

部会長 元田 和行

今年度で5回目となる「おぶせ未来共育会議」は、12月3日(土)に「町人権フェスティバル」とのコラボレーションで行いました。

内容は平成25年度(第68回)文化庁芸術祭大賞を受賞した映画「みんなの学校」を地域の皆さんと見ることです。

この映画は大阪市の公立の小学校「大空小学校」が舞台です。開校から6年間、発達障害のある子ども自分の気持ちをうまくコントロールできない子ども、みんな同じ教室で学びます。児童と教職員、保護者や地域の人もしょいしょになって誰もが通い続けることができる学校を作り上げてきた様子が記録されています。大空小学校の子どもたちはそれぞれの子どもの状態を個性だと捉えて見守る力が育っていました。それは大人になった時、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題に対して、見守り思いやる力を培うことができるということです。

このような学校や社会にしていきたいという感想も参加した方から聞くことができました。今回の未来共育会議のテーマは「みんなが笑顔になる挑戦～この学校は誰がつくるんですか？この町は誰がつくるんですか？みんなです～」でした。学校が変われば地域が変わり社会も変わることを映画のメッセージとして受けとることができたのではないのでしょうか。

そして、人権フェスティバルとのコラボレーションも垣根を越えて新しい発想の商品(価値)を生み出したということを確認したいです。



スナック



12月おぶせ未来共育会議

環境を考える部会 活動報告

部会長 工藤 陽輔

今年度、環境を考える会では「生ゴミ減量と堆肥化&めぐる野菜の普及」をテーマに、菌ちゃん堆肥化ワークショップの実施、菌ちゃん農園野菜祭を中心に活動してきました。春に6次産業センター協に「菌ちゃん農園」を設けて人参を蒔き、大切に育ててきました。

秋には、「菌ちゃん農園野菜祭」を開催し、人参ジュースの試飲、小布施めぐる野菜の販売を行いました。ジュースを試飲してもらったところ、「美味しい！」との声があった反面、野菜嫌いの方が多いことに驚きました。

今後も継続して活動していきます。来年春には、生ゴミリサイクル元気野菜作りの先生、NPO法人 大地と命の会 吉田俊道氏をお招きして、「食育、土作り栽培技術セミナー」を開催する予定です。また、菌ちゃん農園での野菜栽培を一般の方から参加者を募り、皆様と土作りから一緒に体験できるようにしたいと思います。今後も、環境を考える部会を宜しくお願いします。(部会員募集中です。)



定住促進を考える部会 活動報告

部会長 櫻井 敏夫

部会では移住希望者のための空家バンクの整備を考えていますが、移住定住コーディネータとともに空家発掘のためのチラシを作成し、9月の町報配布時に町民の皆さんにご覧いただきました。同時に各自治会長様にもご協力をお願いしました。

後日、各自治会の空家のご事情を順次アンケートさせていただいていますが、現時点で16自治会より次のような回答が得られています。世帯数では増加は4、減少4で全般的に横這いの状況です。空家を把握されているのは9自治会で15軒ございました。残念ながら、すべてがまだ登録相談はなされていないようです。最も期待しておりましたこれらに関する説明会の開催希望はございませんでした。ただし、チラシをご覧になった方から個別にご相談をいただき、移住定住コーディネータが対処し具体化している例もあり、空家バンクに対する関心度が上がりつつあることは間違いありません。この先も町民の皆さんや各自治会への働きかけを行い、継続的な活動として行きたいと考えています。

安全を考える部会 活動報告

部会長 塩尻 利一

10月16、17日、町の六斎市で心肺蘇生のデモンストレーション・コーナーを出展しました。

11月17日、12月22日、今後の活動テーマについて検討しました。新しいテーマは、「地域づくりと防災」の情報について東京都の都民全員へ配布した防災テキストを参考に、小布施でも対応する可能なヒントを学ぼうとテキストを入手しました。このテキストの読み合わせから、みんなで一緒に、考えることや、避難訓練の行動を起こさないといけない意識が必要なのではないかなど話題となりました。

11月24日、全体会議でこれまでの活動経過を発表しました。この日は交流部会の大船渡支援ツアー報告会があり、現地の復興状況をつぶさに語られ、地震と津波の災害対策を学びました。災害はいつ・どこで起きるかわかりません。小布施町でも十分な備えをしませんか。



福祉を考える部会 活動報告

部会長 花村 一三

新年あけましておめでとうございます。本年も福祉部会の諸活動にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

昨年を思い返せば、住民の皆様に向けて福祉に関するアンケートを取らせていただきました。お陰様で多くの皆様から貴重なご意見やご提案を頂戴いただきましたが、内容につきましては現在集計作業を行っており、近々に集計結果などをご報告いたしたいと思います。

また、この「まちづくりボイス」が発刊される翌日の1月21日には、予てより予定しておりました「認知症の人形劇を交えた講演会」が開催される予定です。この講演会に1人でも多くの方が参加され、認知症を理解し、地域住民が皆で協力し対象者を見守っていける安心なまちづくりができればと考えております。

今年も様々な活動を展開していければと思いますので、ご協力をお願いいたします。よろしければ部会への参加もお待ちしております。